

## プラスチックごみモニタリング調査を実施しました

県内3河川の上流・中流・下流及び河口付近の海岸で、参加者の方々とプラスチックごみの実態を調べ、マイクロプラスチックを含めた海ごみ問題について学びました。

### 【春日川調査】2018年9月15日（土）

9月15日土曜日 高松市を貫流する春日川流域でプラスチックごみのモニタリング調査を行いました。今回は親子含めて23人の県民の方々にご参加いただきました。

今、世界的な問題となっているマイクロプラスチックがどこから海に運ばれてきているのかを調べるため、上流、中流、下流、河口近くの海岸でプラスチックの種類や劣化具合を調査シートに記入しながら、ごみの回収を行いました。

同じ条件で回収したごみの量は上流が1.1kg、中流が9.1kg、下流が10.4kg、海岸が2.8kgになりました。海岸は2日前に同じ場所でクリーンアップが行われていたため回収する量は少なくなったものの、破片化したごみの個数が多くなっていました。

参加者からは、「予想よりごみが多くてビックリした」「下流に行くにつれてごみが増えている。周囲に住む人が増えるとごみも増えているのが分かった」などの意見や気づきがありました。

また、子どもからは、「きれいになって気持ちいい」「ごみを捨てないようにしたい」などの意見がありました。



上流調査の様子



中流調査の様子



下流調査の様子



海岸調査の様子



マイクロプラスチック説明



集合写真

【金倉川調査】2018年9月16日（日）

9月16日 日曜日 まんのう町から善通寺市、丸亀市を貫流する金倉川流域でプラスチックごみのモニタリング調査を行いました。今回は親子含めて15人の県民の方々にご参加いただきました。

今、世界的な問題となっているマイクロプラスチックがどこから海に運ばれてきているのかを調べるため、上流、中流、下流、河口近くの海岸でプラスチックの種類や劣化具合を調査シートに記入しながら、ごみの回収を行いました。

同じ条件で回収したごみの量は上流が0.7kg、中流が5.1kg、下流が9.0kg、海岸が23.0kgになりました。

海岸で実施したマイクロプラスチック探し体験（人工芝、肥料カプセル、レジンペレット）はお宝探し感覚で楽しみながらこれら小さなプラスチックを見つけ、その存在に気づいてもらえたように感じます。

参加者からは、「川の幅が広がるにつれてごみがどんどん増えるのに驚きました」「下流や海岸ではビニール袋やペットボトルの多さにビックリした。ごみはごみ箱に入れるように心がけているが、不要になるレジ袋やペットボトルは使わないようにしたい」「とても楽しかった」などの意見がありました。



上流調査の様子



中流調査の様子



下流調査の様子



海岸調査の様子



マイクロプラスチック探し



集合写真



【湊川調査】2018年9月22日（土）

9月22日土曜日 東かがわ市を貫流する湊川流域でプラスチックごみのモニタリング調査を行いました。今回は親子含めて22人の県民の方々にご参加いただきました。地元からの参加者は、湊川に関して興味をもっており、調査結果を楽しみにしながら活動をスタートしました。

調査は、上流、中流、下流、河口近くの海岸でプラスチックの種類や劣化具合を調査シートに記入しながら、ごみの回収を行いました。

上流や中流はごみが少なく、ごみを拾う気いっばいの子どもたちからは少し物足りない感じでしたが、よく見ると木や草の陰にあるごみを探しながら回収しました。下流部では増水時に流されたペットボトルなどが多く溜まっていたため、頑張って集めながら各々の数をチェックしました。

同じ条件で回収したごみの量は上流が2.8kg、中流が4.2kg、下流が8.6kg、海岸が16.5kgになりました。

参加者からは、「上流はきれいだったが、下流や海岸のごみの多さにはビックリした」「レジ袋でも細かく破片になると拾うのが大変」「ごみを減らすために買わない、出さない、捨てないことが大事」などの意見がありました。



上流調査の様子



中流調査の様子



下流調査の様子



海岸調査の様子



色々なごみがあるなあ



集合写真